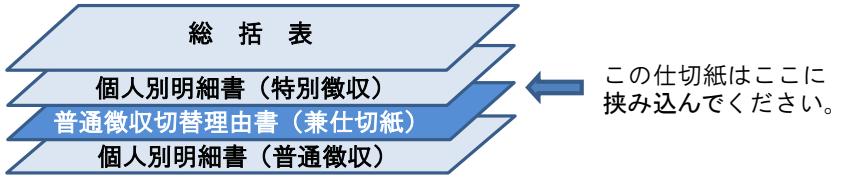
普通徴収切替理由書（兼仕切紙）

市区町村名		指 定 番 号	
事 業 者 名			

普通徴収とした方がいる場合に、該当する符号欄に人数を記入し、下図のとおり
普通徴収とした方の給与支払報告書（個人別明細書）の先頭に挟み込んでください。

≪提出時のつづり方≫



符　号	普　通　徴　収　切　替　理　由	人　数
普A	総従業員数が２人以下 （下記「普B」から「普F」に該当する全ての（他市区町村分を含む）従業員数を差し引いた人数）	人
普B	他の事業所で特別徴収（例：乙欄適用者）	人
普C	給与が少なく税額が引けない	人
普D	給与の支払が不定期（例：給与の支払が毎月ではない）	人
普E	事業専従者（個人事業主のみ対象）	人
普F	退職者又は退職予定者（５月末日まで）及び休職者	人
符号「普F」の人数を総括表の報告人員「普通徴収対象者(退職者)」人数欄に、符号「普A～Eの合計」の人数を「普通徴収対象者(退職者を除く)」人数欄に転記	合　計	人

≪記入上の注意≫

〇普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に符号(普A～普F)を記入してください。

〇複数の該当理由がある従業員については、いずれか一つに人数を記載してください。

〇符号「普F」欄の休職者とは、休職により４月１日現在で給与の支払を受けていない方です。

〇この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。